

788人の長寿を祝う
平成24年度村敬老会



上：記念品の贈呈を受ける招待者/右：アトラクションで一緒に踊る招待者



平成24年度鮫川村敬老会は9月15日、村農業者トレーニングセンターで開かれました。

今年は、満75歳以上の788名(男性295名、女性501名)を招待。村の最高齢は関根ミツさん(荻ノ沢)で満102歳です。

敬老会では、大楽村長が「幾多の困難を乗り越えて、地域振興にご尽力いただいた皆様に感謝を申し上げます」とあいさつし、米寿、80歳到達者、金婚夫婦に記念品を贈呈。来賓祝辞のあと、鮫川中3年の芳賀悠介さんと青生野小4年の棚井未希さん、鮫川小6年の矢吹瑞樹さんが高齢者に感謝する作文を朗読しました。

青戸学男村老人クラブ連合会長が謝辞を述べたあと、アトラクションが行われ、ふる里文化芸能クラブと村内7地区ごとに組織する高齢者支援団体が歌や踊りを披露し、楽しいひとときを過ごしました。

むし歯のない子は8人
8月28日実施の3歳児健診

8月28日に村保健センターで実施した3歳児健診で、むし歯のなかったお子さんは、受診児12人中8人でした。



三瓶ひなたちゃん
①赤坂東野字東前田
②母・つかささん/
③毎日、歯みがきを頑張りました。



中川西遼基くん
①赤坂西野字茅ノ
父・吉栄さん、母・いづみさん/
③弟と一緒に毎日歯みがきを頑張りました。



根本 隆太くん
①遼南字越虫/
②父・隆さん、母・いづみさん/
③毎日、寝る前の歯みがきを頑張りました。



鈴木 和花ちゃん
①赤坂中野字新宿/
②父・雄一さん、母・麻希子さん/
③甘い物を控え、お茶などを勧めました。お風呂に入りながら歯みがきをして、上がったあとに仕上げ磨きをしました。



関根 はなちゃん
①西山字水口/
②父・巨樹さん、母・淳佳さん/
③毎日、歯みがきをしています。大半は泣きながら磨いています。本当に頑張って、泣いても諦めず最後までやり通しました。



佐藤 楓樹くん
①西山字押野/
②父・潤一さん、母・香里さん/
③歯みがき嫌いな時期もありましたが、今は上手に歯みがきができます。歯磨きちゃんのお手本になるように頑張ろうね。



鈴木 陽向ちゃん
①赤坂中野字東前田
②父・晴之さん、母・純子さん/
③甘い物が大好きな陽向ですが、寝る前の歯みがきを一生懸命に頑張っています。



渡辺 美悠ちゃん
①赤坂中野字新宿/
②父・智夫さん、母・明美さん/
③毎日、自分で歯みがきをしました。仕上げ磨きも嫌がらずにできました。

①住所②保護者③むし歯にならないために頑張ったこと

館山公園ピオトープの整備進める
東京農大短期大学部「緑地工学実習」



ウッドデッキを製作する学生たち

東京農業大学短期大学部環境緑地学科の緑地工学実習は8月17日から23日までの7日間、村内で行われました。学生39名が参加し、地元住民や教授らの指導を受けながら、館山公園内のピオトープにウッドデッキや階段を設置するなど、緑地工学を学びました。

上位入賞を誓う
ふくしま駅伝鮫川村チーム結団式



一人一人抱負を述べる選手たち

11月18日に開催される第24回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会に出場する鮫川村チームの結団式は9月13日、村公民館で行われました。選手や実行委員など約50名が出席。水野博和委員長が「昨年以上の成績を残せるように頑張りましょう」とあいさつしました。

間伐やパン作りを体験
大妻女子大学「グリーンツーリズム実習」



パン作りを体験する学生たち

大妻女子大学のグリーンツーリズム実習は9月3日から5日までの3日間、村内で行われました。実習には学生19名が参加。朝日山登山やうちわ作り、間伐などの林業体験、最終日には手まめ館喫茶店スタッフの指導を受けて天然酵母のパン作り体験をしました。

華麗な演技を披露
県芸術祭開幕式典に村から2団体出演



観客を魅了した演技

県芸術文化団体連合会や県などが主催する「第51回福島県芸術祭」の開幕式典は9月2日、矢吹町文化センターで開かれました。式典には、村から「鮫川村スポーツ民踊愛好会」と「静山流静慧会詩舞鮫川教場」の2団体が出演し、練習の成果を披露しました。

村政TOPICS

秋の全国交通安全運動期間中の九月二十一日、村交通安全対策協議会と交通安全協会鮫川支部共催の「交通安全鼓笛パレード」が行われました。村内の交通安全関係団体のメンバーが参加し、横断幕を先頭に青生野小と鮫川小児童鼓笛隊の演奏に合わせて村農業者トレーニングセンター内を行進し、見学に訪れた村民に交通安全を呼びかけました。



鼓笛パレードで演奏する児童たち

安全 鼓笛パレードで交通安全呼びかけ
す。また、牧草地を含めた村内の除染に関しては、村で定めた鮫川村除染実施計画に基づいて実施します。除染実施計画については村ホームページで確認することができます。

村政TOPICS

東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、福島県では牧草の利用自粛が続いている状況です。村では、牧草の種をまく時期に合わせて、八月十日から村の牧草地のおよそ半分から当たる約七〇ヘクタールで除染作業を行い、九月十二日に作業が終了しました。除染作業は牧草地の表面の土の中の土を入れ替え、放射性物質を吸着するゼオライトという鉱物をまく方法で実施。また、農家の所得確保や雇用創出につなげるため、村が除染グループを募集し、村内の農家が組織された六グループが作業を実施しました。牧草地の除染は、平成二十六年年度まで実施する予定で



牧草地の除染作業

除染 鹿角平牧草地
除染作業終わる